

第 2 1 1 回 教育研究評議会（定例） 議事要旨

日 時 平成 3 1 年 4 月 1 8 日（木） 1 3 : 2 7 ~ 1 4 : 5 2
場 所 事務局特別会議室（4 階）

（前回議事要旨確認）

第 2 1 0 回教育研究評議会（定例）（H31. 3. 22 開催）

議題 1. 教育研究評議会からの学長選考会議委員の選出について（資料 1）

議題 2. 新執行部の発足に伴う管理運営体制の見直しに関する関係規則の一部改正等について
（資料 2）

報告事項 1. 女性研究者在籍状況等(2019 年 4 月 1 日現在)について（資料 3）

報告事項 2. 「THE 世界大学ランキング日本版 2019」について（資料 4）

報告事項 3. 部局等評価に係る「学部・研究科等の現況調査表」等の提出について（資料 5）

報告事項 4. 「地(知)の拠点整備事業(COC)」に係る学内アンケート調査について（資料 6）

報告事項 5. 国家試験の合格状況について（資料 7）

報告事項 6. 鹿児島大学学友会の入会について(お願い)（資料 8）

報告事項 7. 平成 31 年 3 月卒業(修了)者の進路状況について(4 月 1 日現在)（資料 9）

報告事項 8. 平成 31 年度学部入学者数について（資料 1 0）

報告事項 9. 2019 年度学内予算配分について（資料 1 1）

報告事項 1 0. 委員会報告（開催済）

（教育）

① 平成 30 年度第 10 回教務委員会（メール会議:H31. 3. 26）（資料 1 2）

② 平成 30 年度第 5 回就職委員会（H31. 3. 26）（資料 1 3）

その他

[出席委員] 2 9 名

佐野学長

(理事) 馬場、越塩、岩井、武隈、山木

(副学長) 渡邊

(学部長等) 高津、藤内、上谷、今林、岡村、小山、新地、宮脇、山崎、木下、川畑、橋本、北原、
佐久間、上西、宮本、三角、本間、於保、宇都宮、靱井、森

[欠席評議員] 3 名

(学部長等) 河野、夏越、橋口

[オブザーバー]

伊牟田監事、萩元理事

冒頭、学長から新しい評議員の紹介があった。また、総務部長から、新任部課長等の紹介があった。

引き続き、平成 31 年 3 月 22 日開催の第 210 回（定例）教育研究評議会の議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり了承された。

議題1. 教育研究評議会からの学長選考会議委員の選出について（資料1）

学長から、教育研究評議会からの学長選考会議委員の選出について、教育研究評議会評議員の交代により、平成31年4月1日から教育研究評議会が推薦する学長選考会議委員4名の欠員が生じていることから、欠員補充のための選出を行いたい旨説明があった。

なお、渡邊副学長は、工学部長を3月31日任期満了後、4月1日から経営改革担当の副学長として引き続き教育研究評議会評議員となるため、学長選考会議委員も継続いただくこと、また、今回から学長及び理事を除いた評議員で投票したいと考えていること、具体的な選出方法については、平成16年11月11日開催の第11回教育研究評議会及び昨年4月開催の第199回教育研究評議会承認された選出方法で行うこととし、このことを規定した申合せ（案）を作成したので審議いただきたい、また、了承された後は、この申合せのとおり今後選出したい旨資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

申合せにより、次のとおり投票することとなった。

- ①第2第1項に基づき、委員の任期は設定しないものとし、欠員が生じたときは、その欠員分について補充の委員、今回は4名の選出を、本日の教育研究評議会で行うものとする。
- ②同第2項に基づき、評議員に役職変更があった場合でも、引き続き評議員である場合は、委員を継続するものとする。
- ③第3第1項に基づき、補充する委員は、学長及び理事を除く評議員のうちから、補充する委員数の単記又は連記無記名投票により選出するものとする。
- ④同第2項に基づき、前項の投票は、学長及び理事を除く評議員により行うものとする。
- ⑤同第3項に基づき、投票は、別紙投票用紙に、今回は4名に丸を付ける形で行うこととし、無記入又は5名以上若しくは3名以下に丸が付された投票は無効とする。
- ⑥同第4項に基づき、末位得票同数の場合は、末位得票同数者による決選投票を行うものとする。

投票後、山崎評議員、北原評議員の立ち合いによる開票の結果、投票総数 23 票、有効投票数 20 票で、得票数上位 4 名の岡村評議員（理学部長）、橋本評議員（農学部長）、佐久間評議員（水産学部長）及び宮本評議員（共同獣医学部長）が学長選考会議委員として選出された。

議題2. 新執行部の発足に伴う管理運営体制の見直しに関する関係規則の一部改正等について（資料2）

学長から、新執行部の発足に伴う管理運営体制の見直しに関する関係規則の一部改正等について諮られ、越塩理事及び総務課長から、4月から新執行部が発足することに伴い、管理運営体制の見直しを行い、経営及び教育・研究に関する事項のうち、学長が必要と認める事項を審議していた「役員等会議」を「大学運営会議」に名称を変更することとし、昨年度まで開催していた大学運営会議及び役員等会議は廃止すること等関係規則の一部改正等を行いたい旨資料に基づき説明があり、種々意見交換が行われ、審議の結果、了承された。

報告事項1. 女性研究者在籍状況等(2019年4月1日現在)について（資料3）

越塩理事及び人事課長から、女性研究者在籍状況等の2019年4月1日現在について、資料に基づき説明があった。

報告事項2. 「THE 世界大学ランキング日本版2019」について（資料4）

岩井理事から、「THE 世界大学ランキング日本版2019」について、2018年の総合順位68位から65位へ上がったこと等について、資料に基づき説明があった。また、部局運営会議等へ周知いただきたい旨依頼があった。

報告事項3. 部局等評価に係る「学部・研究科等の現況調査表」等の提出について（資料5）

岩井理事から、部局等評価に係る「学部・研究科等の現況調査表」等の提出について、平成28年

度から平成30年度分の実績を、各部署長へ7月26日締切りで提出依頼する旨資料に基づき説明があった。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が7月下旬にガイドラインの公表を予定しているため、それ以降修正等行う予定である旨説明があった。

報告事項4. 「地(知)の拠点整備事業(COC)」に係る学内アンケート調査について(資料6)

岩井理事から、「地(知)の拠点整備事業(COC)」に係る学内アンケート調査は、COC事業の進捗管理上、文部科学省から毎年度実施を求められる調査で、今回は特に重要な最終アンケートであり、その回答率も問われ、今年度は5月8日から5月23日の期間に実施する旨資料に基づき説明があり、回答について周知及び協力依頼があった。

報告事項5. 国家試験の合格状況について(資料7)

武隈理事から、国家試験の合格状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項6. 鹿児島大学学友会の入会について(お願い)(資料8)

武隈理事から、鹿児島大学学友会の入会について、資料に基づき説明があり、入会について周知及び協力依頼があった。

報告事項7. 平成31年3月卒業(修了)者の進路状況について(4月1日現在)(資料9)

武隈理事から、平成31年3月卒業(修了)者の4月1日現在の進路状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項8. 平成31年度学部入学者数について(資料10)

武隈理事から、平成31年度学部入学者数について、資料に基づき説明があった。

報告事項9. 2019年度学内予算配分について(資料11)

山木理事から、2019年度学内予算配分について、人件費所要見込額確保及び人事院勧告への対応を含めた人件費予備費の確保をした上で、事務局・各部署へ配分する教育研究経費を13.2%減で予算編成しており、大変厳しい予算編成となっている旨資料に基づき説明があった。

報告事項10. 委員会報告(開催済)

学長から、下記①から②の委員会については、開催済みであり、各部署関係委員から確認願いたい旨の発言があった。

(教育)

- ① 平成30年度第10回教務委員会(メール会議:H31.3.26)(資料12)
- ② 平成30年度第5回就職委員会(H31.3.26)(資料13)

その他

学長から、経営改革担当の渡邊副学長を座長とし、経営改革検討ワーキンググループを設置し、年俸制、任期制、男女比、年齢構成是正、人件費管理方策及び経営力強化について、早急に検討することとなったこと、また、委員は教員及び担当部署の事務(人事、財務及び教務)で構成し、半年を目途に計画を立てるよう依頼した旨説明があった。

なお、渡邊副学長から、半年を目途に年俸制、任期制、女性管理職の増加及び年齢構成是正等に絞って検討し、検討内容等については、教育研究評議会で報告したい旨説明があった。

次回の教育研究評議会(定例)は、令和元年5月16日(木)13時30分からとなった。